

分別解体等の計画等

使用する特定建設資材の種類		☒ コンクリート ☒ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ☒ アスファルト・コンクリート ☒ 木材			
建築物に関する調査の結果	建築物の状況	築年数 ____ 年、棟数 ____ 棟 その他()			
	周辺状況	周辺にある施設 ☒ 住宅 ☐ 商業施設 ☒ 学校 ☐ 病院 ☒ その他(幼稚園) 敷地境界との最短距離 約 ____ 2m その他(幹線道路(国道)沿い、交通量多い)			
建築物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容	建築物に関する調査の結果		工事着手前に実施する措置の内容		
	作業場所	作業場所 ☒ 十分 ☐ 不十分 その他()	☒ 道路使用許可済		
	搬出経路	障害物 ☒ 有(未舗装) ☐ 無 前面道路の幅員 約 12 m 通学路 ☒ 有 ☐ 無 その他(大型車交通可能)	☒ 交通整理員常駐 ☒ 敷鉄板設置により工事用道路の確保		
	特定建設資材への付着物(修繕・模様替工事のみ)	☐ 有(☐ 飛散性石綿(吹付け石綿、石綿を含有する断熱材・保温材・耐火被覆材) ☐ 非飛散性石綿(石綿含有成形版等) ☐ その他()			
	その他(特定建設資材に付着していない、修繕・模様替等の実施時に発生する有害物質)	☐ 有(☐ 飛散性石綿(吹付け石綿、石綿を含有する断熱材・保温材・耐火被覆材) ☐ 非飛散性石綿(石綿含有成形版等) ☐ フロン類使用機器(業務用エアコン、業務用冷凍冷蔵機器等) ☐ その他()			
工程ごとの作業内容	工程		作業内容		
	①造成等		造成等の工事 ☒ 有 ☐ 無		
	②基礎・基礎ぐい		基礎・基礎ぐいの工事 ☒ 有 ☐ 無		
	③上部構造部分・外装		上部構造部分・外装の工事 ☒ 有 ☐ 無		
	④屋根		屋根の工事 ☒ 有 ☐ 無		
	⑤建築設備・内装等		建築設備・内装等の工事 ☒ 有 ☐ 無		
	⑥その他(仮設)		その他の工事 ☒ 有 ☐ 無		
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み並びに特定建設資材が使用される建築物の部分及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる建築物の部分	種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)	
		☒ コンクリート塊	24	トン	☒ ① ☒ ② ☒ ③ ☒ ④ ☒ ⑤ ☒ ⑥
		☒ アスファルト・コンクリート塊	10	トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☒ ⑥
		☒ 建設発生木材	30	トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☒ ⑥
(注) ①造成等 ②基礎 ③上部構造部分・外装 ④屋根 ⑤建築設備・内装等 ⑥その他					
備考					

①使用する特定建設資材についてチェックマークをする。

②新築の場合は空欄で可
その他は築年数(又は建築年)を棟ごとに記入

③隣家の建物への近接状況、周辺環境、その他施工に注意が必要な事項

④工作機械の設置場所、作業空地の状況

⑤搬出経路の状況、前面道路の幅員、路面状況など

⑥「フロン類使用機器」：業務用のエアコン(空調機器)及び冷凍・冷蔵機器であって、冷媒としてフロン類が使用されているもの。
※フロン類に関する問合せは、神奈川県環境課大気・交通環境グループ(電話045-285-0854)へ

⑦「その他」は石綿含有材以外

⑧500万円以上の造成等の工事がある場合は、別表3も必要

⑨廃棄物の発生量を記入
(使用量ではないことに注意)

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。